

【注意点】

- ▼根拠のない架空請求が横行している。
- ▼過去に何か未払いがあったのかと勘違いさせる言葉を並べ、不安にさせる手口。
- ▼連絡すると「訴訟取り下げに必要」と理由をつけ、現金を請求されるケースが多い。

【アドバイス】

- ◎身に覚えがなければ連絡せず無視する。
- ◎利用していなければ払わない。
- ◎脅し文句にひるまない。
- ◎「裁判所」から書面が届いた場合は、放置せずすぐに消費生活相談窓口相談する。

閩生活相談課
☎(25) 8125



利用した覚えのない請求にご注意！

【事例1】
心当たりのないはがきが届いた。「訪問販売契約に対して未納料金があるため、裁判所に訴訟申請をしました。このまま放置すると財産の差し押さえを受けます。早急にご連絡ください」と書かれていた。連絡するべきか。



【事例2】
携帯電話にメールが届いた。「総合サイトの退会手続きができていないため、料金が発生しています。このまま連絡なき場合は、個人情報調査後に法的措置を開始します」という内容だったが、利用した覚えがないが、どうすればいいか。



男女共同参画啓発コーナー **さんかくだより**

閩市民活動支援課 ☎(25) 8526

現代は、男の子も女の子も性別に関係なく自分の気持ちや素直に表現し、成長することが大切です。まずは私たちが習慣や文化について考えてみる必要があります。そうすることで、子どもへの教え方やしつけも少しずつ変わるかもしれません。働く女性の家では男性と女性がよりいきいきと暮らしているヒントを話し合う講座「初め

男だから...? 女だから...? かつて、私たちの習慣や文化の中には、性別を理由に行動範囲や考え方を限定されることがありました。「ランドセルは男の子だから黒、女の子だから赤」こんな決め方をするよりも、お子さん、お孫さんは何色が欲しいのか聞いてみませんか。また、「男は泣くな」「女は黙っていなさい」といったしつけは、「男だからいじめられても泣かずに我慢しなくては」「女だから意見があっても黙って、男の人の意見を尊重しなくては」という考えに陥ってしまう場合があります。

男だから...? 女だから...?

この女性学を開設しています。次回は、3月15日(金) 20時からです。事前申込不要、誰でもお気軽にご参加いただける内容ですので、ぜひ一度のぞいてみてください。

高島市働く女性の会
講座『初めての女性学』
月1回、金曜日 20時から
詳しくは TEL (22) 5775

男性の参加も大歓迎!

いろいろな人の意見を聴きに行こう!!

仕事も家庭も大事にする女性と結婚したいな...僕は、家庭も大事にしたいし...

男は一家の大黒柱!! 仕事を頑張りなさい。

家庭に入って、子どもをちゃんと育てられる人と結婚するんやで!!

どうしよう...

「四高桜を守り育てる会」に 美し近畿景観づくり活動賞



萩の浜には、1941年4月に金沢市の旧制第四高等学校（現在の金沢大学）漕艇部の青年たちが、萩の浜沖で遭難した悲劇を伝えるために植栽された、「四高桜」があります。

「四高桜を守り育てる会」は、この桜を守り育てることを目的として、周辺の下草刈や、新たな道路に植樹される苗木（接ぎ木）づくりなどを通して地域の景観づくりを率先して行っておられます。

こうした活動が認められ、近畿ブロック景観研究会から「美し近畿景観づくり活動賞」が授与されました。（都市計画課）

献身的な環境美化活動 称えられ、中川さん知事表彰

長年にわたり地域の環境美化に尽力されていることが称えられ、中川光夫さん（マキノ町）が、環境衛生改善・環境美化模範功労者知事表彰を受賞されました。

中川さんは20年余、知内区の湖岸に打ち上げられた生活ごみや、むやみに捨てられた釣り具を回収するなど献身的に環境美化活動を実践され、琵琶湖岸や地域の環境美化に貢献されています。（環境政策課）



足立さん、農林水産功労賞 の知事表彰受賞

長年にわたり農林水産業の発展と明るい地域社会づくりに取り組まれたことが称えられ、足立吉次さん（高島）が、農林水産功労賞の知事表彰を受賞されました。

足立さんは、高島施設園芸生産組合で、減農薬、無化学肥料の生産技術を統一し、組合間の技術の

平準化を図るとともに、県指導農業士として農業大学生や新規就農者の研修を積極的に受け入れ、後継者の育成に尽力されてきました。

今後のますますのご活躍が期待されます。（農業振興課）



取れたよ大根！ 大収穫祭



「よえもん道場」では、12月22日（土）に安曇川町泰山寺の風花の丘で収穫祭を開催しました。9月に植えて立派に育った大根を収穫し、大根を洗う機械を使い出荷体験を行いました。また、収穫した大根を使っておろし餅や豚汁、なますなどを作り、お世話になっているサポーターの皆さんと美味しく頂きました。

3回シリーズで大根作りに挑戦し、体験を通して農作業の大変さや、食べ物の大切さを学ぶ活動となりました。（高島市青少年育成市民会議）